

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月8日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【トラックからの燃料油漏れについて】 4号機タービン建屋南側に配備している仮設電源盤積載トラックの状態確認において、燃料タンク(軽油)油面計を点検した際、油面計取り付け部より燃料の漏えいが発生。オイルパンを設置し、周囲への影響はなし。 消防署の確認により「燃料油漏れ事象」と判断。 燃料タンクから燃料の抜き取りを実施。	G II
2	【バックホーの停止操作忘れについて】 バックホー(油圧ショベル)の健全性確認のため、エンジンを始動させたが、エンジンの停止操作を失念したまま、現場を離れた。 その後、無人の状態が掛かっているとの連絡を受け、現場を確認した結果、鍵が付いた状態でエンジンが停止していることを確認した。 今後、再発防止策を検討。	G III
3	【5号機補機冷却海水系海水ポンプ(A)の軸スリーブ固定用キーの腐食について】 海水ポンプ(A)点検において、ポンプの軸スリーブ固定用キーに腐食が確認された。 当該キーを交換予定。	G III